

調査日：平成28年12月5日(月)～9日(金)

回収率：100.0%

回答：4・非常に良かった 3・良かった 2・悪かった 1・非常に悪かった

- 1 単位制の特色やシステム、よさ(利点)を生かすための研修および実践の工夫に努める。

|     | 4+3   | 2+1   | 平均  |
|-----|-------|-------|-----|
| 今年度 | 78.6% | 21.4% | 2.9 |
| 昨年度 | 85.7% | 14.3% | 3.0 |

単位制の特色や利点を生かす研修を増やす。

- 2 保護者との連携をより深めるための方策を講じる。

|     | 4+3   | 2+1   | 平均  |
|-----|-------|-------|-----|
| 今年度 | 81.0% | 19.0% | 2.9 |
| 昨年度 | 90.5% | 9.5%  | 3.0 |

学校の状況や学校行事への参加を促す手立てをさらに模索したい。

- 3 単位制の特色やシステム、よさ(利点)を地域および中学校へ周知するための広報活動に取り組む。

|     | 4+3   | 2+1   | 平均  |
|-----|-------|-------|-----|
| 今年度 | 88.1% | 11.9% | 3.0 |
| 昨年度 | 90.5% | 9.5%  | 3.1 |

広報誌の配付やHP、地域の活動への参加等、アピールする手立てを模索する。

- 4 生徒の欠課時数や不認定講座および修学指導対象者の減少に向けての取組を行う。

|     | 4+3   | 2+1   | 平均  |
|-----|-------|-------|-----|
| 今年度 | 71.4% | 28.6% | 2.7 |
| 昨年度 | 87.8% | 12.2% | 3.0 |

修学指導の取り組みがよい生徒の次学期の単位取得率は上昇しているが、取り組みの悪い生徒は次学期も単位修得率は芳しくない。

- 5 生徒の実態に応じた教育課程や講座展開の研究に努める。

|     | 4+3   | 2+1   | 平均  |
|-----|-------|-------|-----|
| 今年度 | 80.5% | 19.5% | 2.9 |
| 昨年度 | 78.0% | 22.0% | 2.9 |

進路希望等の実態に応じた講座の研究を今後ともさらに進める。

- 6 生徒の卒業率および進路決定率の向上のための教育活動の工夫に努める。

|     | 4+3   | 2+1  | 平均  |
|-----|-------|------|-----|
| 今年度 | 97.6% | 2.4% | 3.2 |
| 昨年度 | 95.1% | 4.9% | 3.2 |

本校生徒は進路希望が多様ではあるが、系統的な進路指導や就職環境の好調さもあって、進路決定率は高い状態を保っている。

- 7 生徒のマナーに対する意識および公共性を向上させるための取組を行う。

|     | 4+3   | 2+1   | 平均  |
|-----|-------|-------|-----|
| 今年度 | 70.7% | 29.3% | 2.7 |
| 昨年度 | 61.9% | 38.1% | 2.7 |

様々な場面で指導を行っているが、さらに、全職員の共通理解のもと粘り強く継続して指導を行っていく必要がある。

- 8 生徒の日々の健康維持や管理、健康増進を促すための取組を行う。

|     | 4+3   | 2+1   | 平均  |
|-----|-------|-------|-----|
| 今年度 | 87.8% | 12.2% | 3.0 |
| 昨年度 | 78.0% | 22.0% | 3.0 |

アンケート数値では改善の方向となっているが、今後も生活習慣の乱れによる学習への影響等に気をつけなければならない。

- 9 生徒の主体性の確立を促すための教育活動の工夫に努める。

|     | 4+3   | 2+1  | 平均  |
|-----|-------|------|-----|
| 今年度 | 90.2% | 9.8% | 3.0 |
| 昨年度 | 95.0% | 5.0% | 3.2 |

大きな行事での活動に対する評価と日常の活動での評価に差がある。また、取り組みのよい生徒とそうでない生徒の2極化が見られるという意見もある。